

Weekly 原油情勢

改定幅予想(6/26~6/2)

+2.0~+3.0

6月4週(6/17~6/23)トピックス

原油は反発。中東の地政学的リスク高まる。

過去トピックス

5月4週▲

原油は続落。米国で在庫が上振れたことに加え、長期金利の上昇に伴う株安が進んだことで、原油は売りが先行している。

6月1週▼

原油は続落。再び関税政策の不透明感から、リスク回避のムードが強まっている。当面の焦点は、米国の関税交渉。特に米国と欧州、米国と中国の関税交渉の行方が原油相場を左右する。

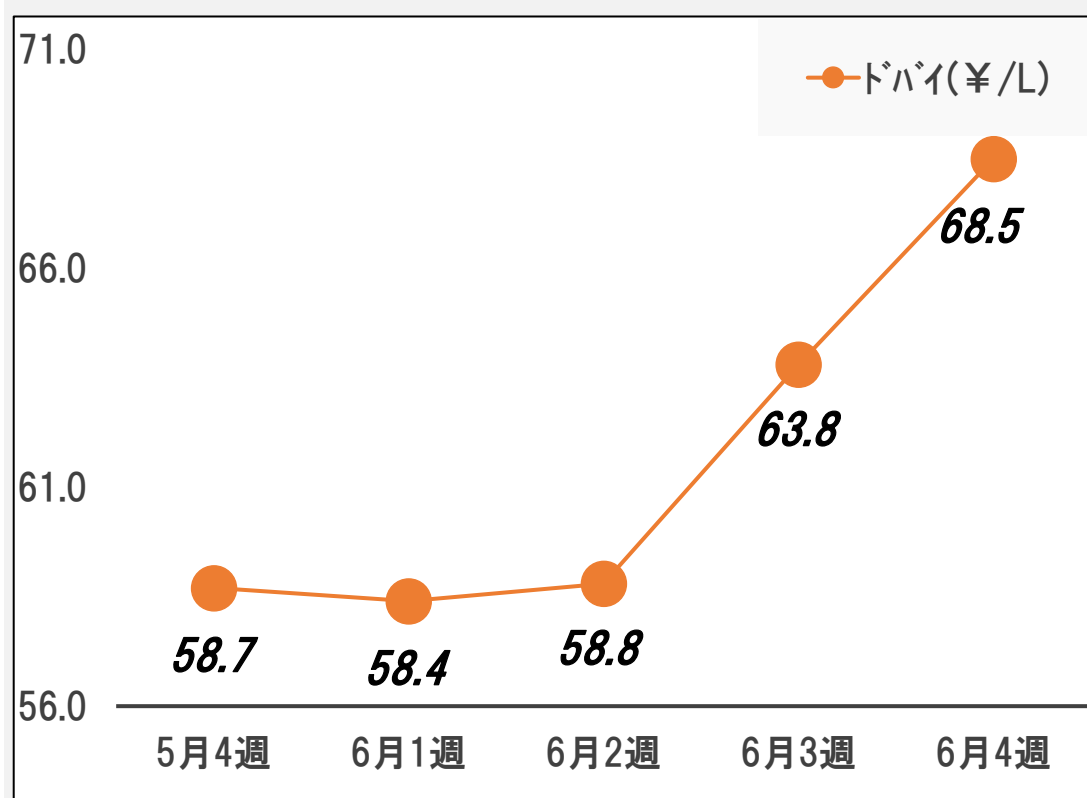
6月2週▼

原油は小動き。米国のガソリン在庫が市場予想に反して増えたことや、サウジアラビアがアジアの顧客向けの7月原油販売価格を4年ぶりの低さに迫る水準まで引き下げたことが弱材料視。

6月3週▲

原油は急反発。イスラエルがイランの核関連施設を攻撃したことで、恐れていた中東情勢の緊迫化が現実化し、地政学リスクが台頭している。

価格推移表



週	期間	ドバイ(\$/バレル)	為替(TTS)	ドバイ(¥/L)	増減幅
5月4週	5/20~5/26	64.4	144.9	58.7	-0.9
6月1週	5/27~6/2	64.0	145.1	58.4	-0.3
6月2週	6/3~6/9	64.7	144.6	58.8	0.0
6月3週	6/10~6/16	69.9	145.2	63.8	5.0
6月4週	6/17~6/23	74.6	146.1	68.5	4.7

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス

